

# 事業評価シート（平成26年度分）

## 1. 事業の位置付け

事務事業名	地域の人材発掘・活用事業		
事業担当	社会教育部 中央公民館		
事業種類	ハード	ソフト	
総合計画の位置付け	'01	基本目標1 豊かな心をはぐくみ、よろこびとふれあいにあふれたまち	
	'02	感性 生涯学習や文化などを通じ、豊かな感性をはぐくむ	
	'01	1 生涯にわたる学習・スポーツ・レクリエーションを楽しむ環境を充実する	
根拠法令等	社会教育法第22条		
対象・受益者	市民	事業期間	
委託・協働	【委託： 3セク・財団 企業 NPO その他】【協働： 】		
	目的・目標		事業の概要
各地域における人材の発掘と登録の推進が図られ、各講座の講師に活用されています。		生涯学習活動の推進のため、地域における人材の発掘・登録とボランティアを育成・活用します。	

## 2. 事業の検証

活動指標	指標名	地区公民館の地域人材講師の登録件数(平成26年度から)			単位	件
	説明・算定式					
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	実績			104		
活動指標	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	実績					
成果指標	指標名	地区公民館の地域人材講師の活用事業及び地域団体との共催事業の開催回数			単位	回
	説明・算定式	(平成26年度から)				
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	実績			405		
成果指標	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	実績					
進捗状況	：若干遅れている					
	遅れている理由	制度の登録開始年度のため、地域住民も登録状況を見極めていく状況と考えている。				
平成26年度の主な取組と成果						
年間を通じて公民館だより等で地域の人材をクローズアップし、また、積極的に講師登録及び活用が図れるよう公民館運営委員会で各種団体等へ周知などの取組みを進めました。また、地域の特性に合わせた伝統文化を継承する事業の開催や地域史を学ぶ講座の開催、町内福祉村との連携事業等により、地域の人材を活用してもらったり、地域の産物を利用するなど、学習活動の推進が図れました。						
平成26年度の検証結果	A：成果があがった					

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	市民ニーズ 事業目的の達成状況 市の関与の必要性 その他	団塊の世代を活用していくことが求められていることから、必要性は高いものがあります。	高低
	有効性	上位施策への貢献 市民満足度を高める方策 継続による成果向上の可能性 その他	地域の方が講座やサークルで身につけた技能や知識を、地域の方々に伝授していく場として講座を活用するもので、有効であります。	高低
	妥当性	事業の目的、対象、内容 受益者負担、補助額 業務の執行体制(人員配置、業務分担) その他	地域の埋もれた人材を発掘して活用していくことが、市全体の地域力、市民力の向上に役立ち、妥当であります。	高中低
	効率性	業務プロセス改善による効率化の方策 コスト削減の可能性 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) その他	ボランティア講師を活用することは、各々が持つ技能や学習成果を広める役割を持ち、人材の育成や活用につながるほか、経費減少等の効率の可能性もあります。	高中低
<b>今後に向けた課題の分析</b> なるべく身近な地域で人材を発掘し活用していけるよう、地区公民館における人材登録を進め、指導者の登録数を増やしていくとともに、公民館事業に活用するだけでなく公民館だより等による事業報告でPRするなど、地域での活動の場を創出していく必要があります。				

## 3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成24年度 決算額	平成25年度 決算額	平成26年度 決算額	平成27年度 予算額
事業内容		指導者登録名簿作成、 ボランティアの育成活用	指導者登録名簿作成、 ボランティアの育成活用	指導者登録名簿作成、 ボランティアの育成活用	指導者登録名簿作成、 ボランティアの育成活用
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	0
事業費 (A)		0	0	0	0
執行率 (%)		-	-	-	

## 4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

<b>平成28年度の取組方針</b> 地区公民館での各種事業への受講者、地域でさまざまな技能を持った人材の発掘と活用について、地区公民館ごとの登録を進めていくことにより、活動しやすい環境を整備し、登録者数の増加を図ります。また、町内福祉村ボランティア等との連携等により「知恵の輪」づくりを進めます。
<b>課長コメント</b> 平成26年度後半から地区公民館全館により、人材の活用も含めて制度を本格実施しました。今後は、登録された人材が、より活用されるよう制度の周知に力を入れていきます。